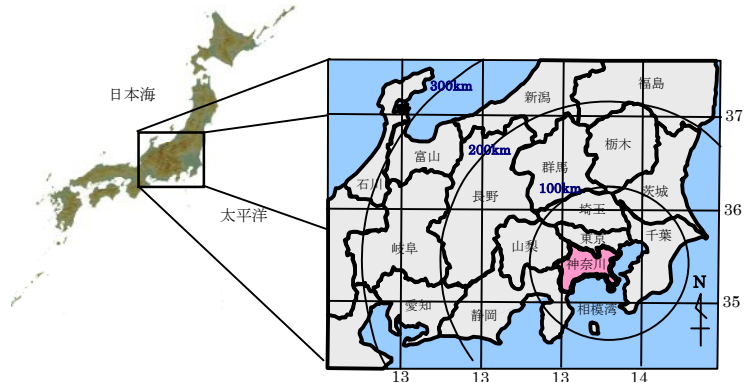


2. 神奈川県概要

2-1 位置、地形等

(1) 位置

神奈川県は本州のほぼ中央、関東平野の南西部に位置しており、北は東京都、西は山梨県、静岡県と県境を接し、南は相模湾、東は東京湾に面している(図2-1-1)。東西に約80km、南北に約60kmに広がり、面積は約2,400km²で全国総面積の0.64%に相当する。



参考：神奈川県 県勢要覧

図 2-1-1 神奈川の位置

(2) 地形

図2-1-2及び図2-1-3は本県の地形を示したものである。



図 2-1-2 神奈川の地形

出典：図説 かながわのまち解体新書
2006(平成18年)
(神奈川県都市計画課)

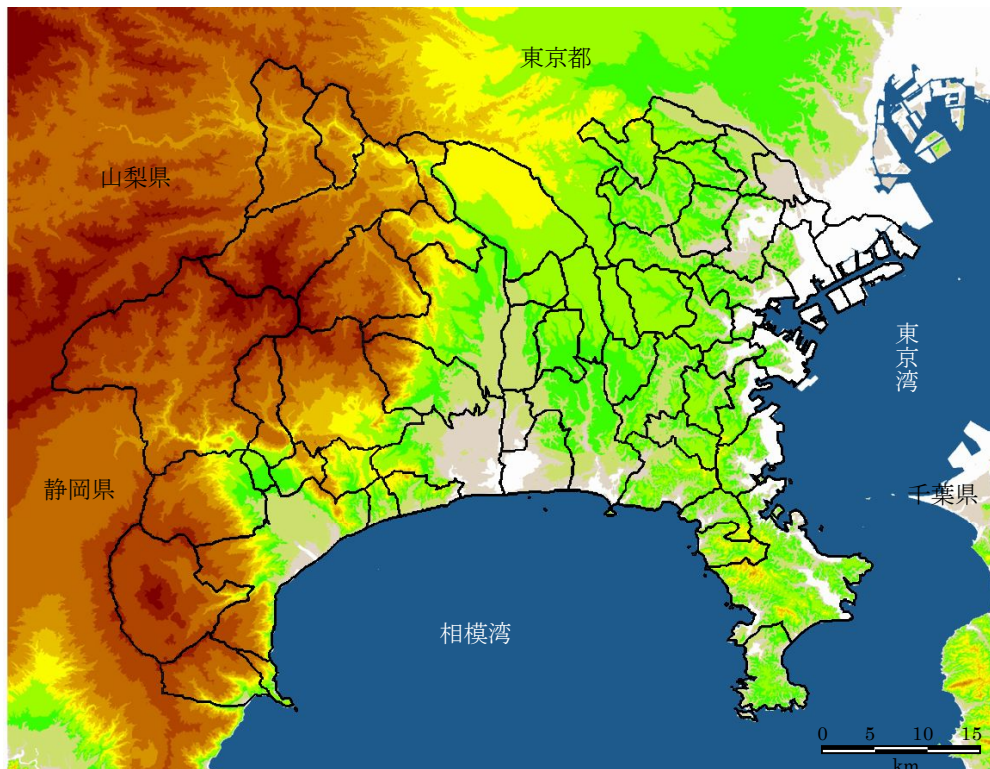
図 2-1-3 神奈川の地勢図

出典：神奈川県 県勢要覧
(神奈川県統計課)



神奈川県は地形からみると大きく3つの地域に分けられる。丹沢山地と箱根火山で特徴づけられる起伏の激しい山がちの西部地域、多摩丘陵と三浦半島でとらえられる丘陵地性の東部地域、相模川を中心として、その両岸に広がる平坦な段丘と低地からなる中央地域である（「県勢要覧」神奈川県統計課）。また、水系をみると、東京都との県境の多摩川や県の中央部の相模川、西部の酒匂川などの河川が流れ、その周りには低地が広がっている。

更に、気流に影響する地形や気温に関係する標高を把握するために、国土地理院の数値地図 50m メッシュ（標高）データにより標高図を作成した（図 2-1-4）。



標高凡例	
1200m 以上	100m 以上 150m 未満
900m 以上 1200m 未満	50m 以上 100m 未満
600m 以上 900m 未満	30m 以上 50m 未満
300m 以上 600m 未満	10m 以上 30m 未満
200m 以上 300m 未満	5m 以上 10m 未満
150m 以上 200m 未満	5m 未満

国土地理院の数値地図 50m メッシュ（標高）より作成

図 2-1-4 神奈川県の標高図

この図から、神奈川県は東京湾沿岸や相模湾沿岸の 5m 未満の低地から、西部の丹沢や箱根の 1200m を超える山地にまでおおよび、起伏に富んだ地形を有していることがわかる。